

2006年3月2日

大型液晶テレビ用偏光フィルム設備増設

住友化学はこのほど、大型液晶テレビ用偏光フィルムの原反について、新たに日本で1系列、韓国で2系列、中国で1系列の計4系列、合計年産能力3,400万 m^2 の大幅な設備増強を実施することを決定いたしました。完成は2007年6月から7月を予定しています。当社は既に2005年9月に日本と韓国で3系列(年産能力1,800万 m^2)の増強を決定し、現在、工事を進めています。既存設備とこれらの能力増強を合わせた当社の偏光フィルムの合計生産能力は年産7,600万 m^2 となります。また、液晶パネルメーカーが大型テレビ用パネルの工場展開を中国で進めていることから、偏光フィルム原反の設備増強に加えて、大型テレビ専用の加工工場の建設を台湾、韓国に次いで中国でも進めてまいります。

大型液晶テレビは、その性能の向上と価格低下により非常に早いスピードで普及してきています。そうした中、液晶パネルの主要部材である偏光フィルムの需要は、画面サイズの大型化とあいまって急増しており、供給能力の確保が強く望まれる状況にあります。一方、当社がかねてから技術開発を進めてきた大型液晶テレビ用の偏光フィルムは、液晶パネルメーカーからその品質・性能について高い評価を頂いており、この分野のスタンダード製品となりつつあります。

このような状況から、当社は、現在、進めている設備増強を早期に完成させることに努めると共に、追加の投資により生産能力を大幅に増加させることが必要と判断いたしました。今回の設備は、大型テレビ専用系列とし、最新の技術を織り込み、生産性と品質安定性を一段と向上させる計画です。

この増強により、当社は、日本で4系列、韓国で6系列、台湾で2系列、中国で1系列の偏光フィルム生産設備を備えることになり、液晶パネルメーカーの生産拠点展開に応じて、グローバルに製品を供給できる体制が一段と拡充されます。当社は、これにより偏光フィルム事業のさらなる拡大をめざしてまいります。

《設備増強の概要》

1. 設備能力

愛媛工場	1系列	850万 m^2 /年	
韓国 (東友ファインケム株)	2系列	850万 m^2 /年	計1,700万 m^2 /年
中国 (住化電子材料科技(無錫)有限公司)	1系列	850万 m^2 /年	

2. 完成時期

愛媛工場	07年6月
韓国 (東友ファインケム株)	07年6~7月
中国 (住化電子材料科技(無錫)有限公司)	07年7月

以上